

第 11 回中部 MIST 研究会 in Nagoya 開催報告

平成 31 年 2 月 16 日に名古屋駅前のウイंकあいちにおいて第 11 回中部 MIST 研究会を開催させていただきました。急な予定変更により関係者の方々には大変なご苦勞をおかけしましたが、研究会開催中は幸い天候よく、中部地区だけでなく、北海道、九州などからも多くのドクター、メディカルスタッフにご参加いただきました。参加者は本会 70 名、ハンズオンセッション 36 名と 100 名以上にのぼり、まことに大盛況のうちに終わることができましたのでここに報告させていただきます。

本会の一般演題は今回全国各地から MIST を一線で行っておられるエキスパートからたくさんの発表があり大変レベルの高い内容となっております。1 会場で 30 演題と非常にタイトなスケジュールでしたが日本および中部 MIST 研究会の中から専門分野の幹事をお一人ずつ 2 人態勢で座長をしていただいたおかげで大変スムーズに会が進行しほぼスケジュール通りとなりました。そんな中、優秀演題賞は国内外の多くの学会で活発に発表されている さんむ医療センターの石川哲大先生が『びまん性特発性骨増殖症 (DISH) 骨折に対する PES 法 double/single の比較』の演題で受賞されました。近年増加している (DISH) 骨折に対する手術方法として注目されている術式について科学的に臨床検討されたことが評価されました。それに匹敵する得票の臨床比較試験がほかにもありましたが、今後の全国会で発展報告されることと期待しております。

ランチョンセミナーは筑波大学 整形外科 講師の安部 哲哉先生に『側方椎体間固定術における人工骨の有用性』をご講演いただきました。共催いただいたニューベインブジャパン株式会社の人工骨の XLIF における実際の使用方法や基礎的なデータを中心に大変わかりやすくお話しいただきました。

特別講演 1 は日本 MIST 研究会が本年度より学会となるのを記念して、来年 2 月に第 10 回 MIST 学会の会長を神戸で予定されている神戸赤十字病院 整形外科 部長 伊藤 康夫先生に胸腰椎・腰椎外傷に対する最小侵襲脊椎安定術 (MIST) についてお話いただきました。本会前夜の本音会での幹事レクチャー: 骨盤骨折に対する MIST に引き続いて先生の豊富な脊椎外傷経験、MIST の応用について期待通りの参加者のためになるご講演を頂きました。

そして特別講演 2 は中部 MIST 研究会で最も力を入れているハンズオンセミナーや若手医師、スタッフの教育に関連して、日本のカドバーセミナーを牽引されている名古屋市立大学大学院医学研究科統合解剖学分野教授 先端医療技術イノベーションセンター長 植木 孝俊先生に医療の質と安全性の向上のための cadaver simulation training への取り組みの現状についてご講演いただきました。今後も整形外科、脊椎脊髄外科、MIST 学会とも協力し合って日本のカドバーセミナーを広めていきたいとの力強いお言葉を頂きました。第 12 回中部 MIST 研究会は、名古屋市立大学の水谷会長のもと、再び名古屋にて 10/19 (土) に開催される予定です。植木 先生のご協力もあり翌 20 日 (日) に名古屋市立大学 先端医療技術イノベ

ーションセンターでのカダバー実習を行う予定です.さらなる中部 MIST 研究会の盛り上がりを祈念いたします.

前日に岐阜県犬山市で行われた本音会についてはあえてここに詳細は報告しませんが、お忙しい中、全国各地から日本 MIST研究会のボードメンバーにも参加いただき幹事会を開催し、他では聞けないミニレクチャーをご講演いただきました。疲れを感じさせない活発な症例提示や合併症のビデオ提示があり、会員、中部 MIST 研究会幹事との親交を深めることができました。改めて参加者に感謝いたします。

最後になりましたが、

第 11 回中部 MIST 研究会開催に際しましてご協力をいただいたみなさま、参会いただいた方々、誠にありがとうございました。また、この場をお借りして本研究会の趣旨にご賛同いただきました多くの企業の皆様に心より深く感謝申し上げます。今後とも何とぞよろしくお願い申し上げます。

第 11 回中部 MIST 研究会
会長 中野 正人
高岡市民病院 整形外科



